

事業名	医療機関等指導費		
細事業名	病院医療機能等実態調査・指導費	財務コード	084402
担当部課室	福祉保健 部	医務 課	医療企画 担当 (内線) 3404

調書番号	47
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S55 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託) (山梨県官公立病院等協議会)		
目的	だれ(何)を対象に 官公立病院等	その対象をどのような状態にして 入院患者の入院機関等を調査把握する	結果、何に結びつけるのか 地域医療推進の基礎資料とする
内容	<p>○医療計画等における数値目標の達成状況を検討するため、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の主要疾病等について、在院日数、症状、受療等の実態を調査している。</p> <p>○第二期山梨県医療費適正化計画(平成25年3月)において、医療の効率的な提供の推進に関する目標として、平成29年度末までに平均在院日数を28.4日とすることとしており、同目標の達成に向けた基礎資料とするため、平成26年度から平成30年度まで、官公立病院等における診療科別の平均在院日数を調査している。</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	実態調査実施病院数	目標	28	28	28	28	28	28
		実績(見込)	28	28	28	28	28	28
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		735	756	756	756	756	756	770

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	実態調査実施病院数については、官公立病院等協議会18病院と民間病院10病院を調査対象としており、期待される活動量が確保されている。
成果指標	b		医療計画及び医療費適正化計画に掲げる数値目標の達成状況を把握するため、県が委託事業により実施しており、定量的な評価は困難となっているが、期待される成果が生じている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県が実施する調査委託であり、その調査結果として期待される成果が生じており、向上が望めないため。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	平成30年3月の医療計画及び医療費適正化計画見直しに伴い、調査項目について見直す余地がある。		
見直しの必要性	有	医療計画の進捗管理に資する調査項目について、平成30年3月に策定された第7次医療計画を踏まえて見直す。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	平成30年3月に策定された第7次医療計画の進捗管理に資する、官公立病院の実態等にかかる調査項目を設定する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。